



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,786 世帯
人口 10,747 人
男 5,400 人
女 5,347 人
(令和 6.9.1 現在)

第52回大会

町内公民館 親睦球技大会開催



7月7日、菅野中学校体育館と校庭で、親睦球技大会が開催されました。種目はソフトバレーとソフトボールです。

ソフトバレーには、今、東耕地、下小俣、空港東、神戸、下二子の6チーム、総当たり5試合ずつ。ソフトボールは、下小俣、空港東、神戸新田、菅野、下二子の5チーム、2試合ずつ。参加者は応援を含め1000人を超えていました。

どちらの種目も順位をつけないということに殺気立つこともなく、和気あいあい。ソフトボールのウォーミングアップ中に「二年ぶりだね」「ボール触るのも一年ぶりだね」とにこにこ話す姿が見られました。「若い人がこれだけ集まって良かった」と言う声も聞きました。ソフトバレーは、親子、夫婦、ご近所さま、それぞれ関係の異なる味のあるチームの集まりでした。ボールに触れるのは久しぶりという方は、ご自分の好



夏の千畳敷ウォーキング

プレーにびっくり!! どの種目にも必ず珍プレーがあり、まわりはお腹を抱えてひっくり返っていました。大笑いが原因の筋肉痛が心配でした。

梅雨の晴れ間の気温36℃という記録的な暑さの中、本部席より水分補給を促す放送があったり、飲み物と紙コップを持ち選手と応援席をまわる係の姿に感謝しつつプレーにも声援にも力が入りました。

暑さに負けないくらい熱い戦いと笑いが、より一層この大会を盛り上げたのではないでしょう。皆さんお疲れさまでした。

7月29日、木曾駒ヶ岳千畳敷ウォーキングが行われました。県道駒ヶ岳公園線が7月2日から豪雨での土砂崩落のため通行止めになり開催が危ぶまれましたが、当日までには復旧し、無事開催されました。

参加者39名は、駒ヶ根の菅の台バスセンターで専用バスへ乗り換え、しらび平駅から中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイに乗り

ました。高低差950m、7分30秒があつという間でした。終点、標高2612mの日本二高所にある千畳敷駅に到着し、外に出ると正面には宝剣岳。青空に映えて圧巻の眺めです。

百瀬ちゆきさん(東耕地)の説明を聞きながら、高山植物が咲きみだれる千畳敷カールの遊歩道を剣ヶ池まで歩きました。その後は自由散策となり、思い思いに昼食を取ったり、更に散策を楽しんだりしました。

小学一年生、一條凌平さん(今)は「ロープウェイが楽しみで参加した。た



くさん歩いて、お花も山もたくさん見て写真を撮った。雲の流れが速くて面白かったよ」

神戸、東耕地からそれぞれ参加した女性二人は、「木曾駒ヶ岳は何度か来ているが、今日は天気も良く最高だった」「秋にも来たことがあるが、夏も素晴らしい景色だった」

行きの道中では何人かの参加者から「秋に行きたかった」という声が聞かれましたが、下りのロープウェイに乗る頃には皆「夏の景色も大変良かった」と大満足、夏の千畳敷を満喫して帰路につきました。

当日の松本市の最高気温は37℃に対して千畳敷は18℃から19℃。晴天の中、南アルプスの山々や富士山まで見られ、山好きの中では「木曾駒ヶ岳」といわれる憧れの青空も楽しむことができました。



第1回

「さがが寺子屋食堂」開催

みんなで勉強・スポーツ・居ごはん

8月5日、子ども会育成会との共催による「さがが寺子屋食堂」が開催され、菅野小学校と二子小学校から23人の小学生が参加しました。

勉強会は、寺子屋の名の下に子ども会育成会役員と地区在住の教員経験者に指導をお願いし、夏休みの宿題に1時間取り組みました。

つぎはフラインドサッカー体験です。パリパラに出席した平林太一選手らを指導している丸山英男さんと中沢医さんから指導を受けました。アイマスクを付け、見えな



い怖さや難しさを肌で感じ、「話す」「聴く」そして「思いやる」を大切にすることを学びました。

最後に、笹賀食生活改善推進員のメンバーと民生委員OBが調理した「災害時対応食」のチャーハンとオムレツの作り方と食べ方を学んだあと、昼食にしました。

妹の琳心さん(二子小3年)琉亜さん(同5年)と一緒に参加した松島璃央さん(同6年)は、「夏休み中の珍しい行事に参加できて楽しかった。フラインドサッカーは思いうように出来なかったが良い経験になった。」と感想を述べていました。

夏休みに親子で料理教室

7月30日は「親子で多国籍料理教室」料理を通して世界をのぞいてみよう」で、前日に続いて奎尾一恵さんを講師に、4組11人が参加しました。メニューは、バターチキンカレー(インド)、チャパティ(インドの薄焼きパン)、スパイスリンゴジュース(中東)、ミルクトフィー(スリランカのスイーツ)と、タイトルどおりの内容でした。食から多文化に触れ、世界



31日は、笹賀地区食生活改善推進員の林さん、本沢さん、清沢さんによる夏休み恒例の企画で、7組17人が参加しました。炒り卵や枝豆、かに風味かまぼこを混

に興味を持つきっかけになったのではないのでしょうか。



ぜたカラフルおにぎり、厚揚げのピザ風焼き、野菜をピーラーで薄くスライスした短冊サラダ、七夕まんじゅうをみんなで協力して楽しく作りました。

この日は、市民タイムス記者の取材もあり、翌日8月1日の新聞に掲載されています。

